

夏の『雑もの茶会』

6/23

参加者の方々に器を持ち寄っていただき開くお茶会です。お持ちいただく器は、日頃ご飯を食べている茶碗でも、陶芸教室で自作した丼鉢でも、もちろん由緒ある大名物でもなんでもかまいません。冷たい網代の上に座って、御簾を通り抜けてくる涼風をうける心地よさは夏の宵ならではの、何流でもない、気の張らない、和やかなお茶会です。

- 日時：6月23日（土） 17：30～21：30（開場 17：00）
- 内容：お食事、お抹茶、お菓子、お話、器の紹介、音楽鑑賞など
- 参加費：5,000円 □定員 30名



熊谷家住宅 第1回特別展

パンと昭和



昭和時代は日本人の生活が大きく変わった時代ですが、パンが主食にならぶものとなったこともその一つでしょう。パンは幕末から日本に入り、あんパンが開発されるなど日本人にも親まれてきましたが、戦前まではおやつの域を出ていませんでした。それがすっかり代わったのは戦後のことです。食糧難の日本にアメリカからの援助物資として小麦とミルク（粉乳）がはいてきて学校給食に使われました。キッチンカーが全国を回り、パン食の優秀性を柱とする食生活改善運動が展開されました。その後パンは日本人に合うように工夫が重ねられていき、今ではすっかり日本の食生活に定着して、確実に米と並ぶ主食としての位置を占めたといえます。民族の主食が代わるということは、じつに大変なことです。こうした米からパンへの道筋を戦後の歴史の中で見てみようとしたのがこの「パンと昭和」展です。

（重要文化財熊谷家住宅館長 小泉和子）



ロハのパン屋

会期：2017年10月～2019年3月

※途中展示替えがあります

場所：重要文化財熊谷家住宅

観覧料：高校生以上 500円

小・中学生 100円

開館時間：9：30～17：00

休館日：毎月最終火曜日

※臨時休館する場合があります。



戦時中の代用食



大田市のパンと学校給食

平成 29,30 年度 公益財団法人ごうざん島根文化振興財団助成事業

【お申し込み・お問合せ】



重要文化財熊谷家住宅

〒694-0305 島根県大田市大森町ハ63

TEL：0854-89-9003

FAX：0854-89-9009

<http://kumagai.city.ohda.lg.jp/>

パンと昭和

2017.10/1
～2019.3/31

100円引券

（小・中学生は20円引）

パンと昭和

2017.10/1
～2019.3/31

100円引券

（小・中学生は20円引）

※1枚につき1名様のみ有効です